

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

令和6年 2月 22日
緑が丘幼稚園

1. 本園の教育目標

1. 心もからだも健康でたくましい子ども（健康）
2. 友だちと心を合わせて仲良く遊ぶ子ども（人間関係）
3. 好奇心・探求心をもって遊びを創る子ども（環境）
4. 友だちと会話を楽しむ子ども（言葉）
5. 豊かな心で表現を楽しむ子ども（表現）

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

【毎日園に行くのが楽しみ、友だちと遊ぶのが楽しい幼稚園】

- ・自分の力を発揮する子どもたち（自主性、主体性のある生活・環境づくり）
- ・元気に遊べる心と体づくり

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	子どもの育ちに合った行事の見直しや預かり保育の充実	A	幼稚園部の預かり保育年間計画・デイリープログラム、保育園部の夕方のデイリープログラムを作成し、子どもたちの育ちに合った生活ができた。
2	子どもの自主性を育む環境づくり	B	子どもの自主性・主体性に意識を向けることができたが、その力を育む環境づくりについては継続し向上する必要がある。
3	安全管理に関する意識の向上	B	防災訓練等計画的に行えたが、実際起こった場合の事業計画を立てていく必要がある。AEDの使い方の講習をうけたり、さすまたの設置をし、使い方を職員で共有した。
4	備品の見直し	B	安全面を考えハイハイマットの入替えを行った。備品の安全点検を行い、計画的に入れ替え補充をする。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	子どもたちの自主性・主体性を大切にした保育を行い、子どもたちの思いにより深く心を向けられるようになった。また行事の見直しを行い、子どもの育ちや家庭環境にあわせ実施できた。今後の課題も明確になった。

評価（A…十分に成果があった B…成果があった C…少し成果があった D…成果がなかった）

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	子どもの育ちの理解	子どもの育ちや個性について話し合い、幼児理解を深める。
2	子どもの自主性を育む環境づくり	教材研究を行い、子どもが主体的にかかわって生活できるような環境づくりをする。
3	安全管理に関する計画の見直しと改善	年間を通して不審者訓練を実施できるよう計画する。業務継続計画を作成し、有事の際に対応できるようにする。
4	備品整備と見直し	備品の点検を行い、順次入れ替えができるよう計画を立てる。遊びが充実するよう、遊具等を見直しを行う。

6. 学校関係者評価委員会の評価

- ・一人ひとりの育ちに合わせつつ、子どもの主体性・自主性を意識した保育者の対応が見られた。より多くの保護者に参加し、理解してもらえると良い。
- また、防災訓練に関しては、年間を通して様々な訓練を行ない、心に残り身につくよう実施できている。